

関係各位

薬局だより

薬剤部 医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品

・全科新規採用薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
小児科	カルボシステインDS50% 「タカタ」 (薬価: 12.50/g)	1g: 日局 L-カルボ システイン500mg	高田 製薬	<p>〈成人〉 通常,成人にカルボシステインとして1回 500mg(本剤1.0g)を用時懸濁し,1日3回経 口投与する。 なお,年齢,症状により適宜増減する。</p> <p>〈小児〉 通常,幼・小児にカルボシステインとして体 重kg当たり1回10mg(本剤0.02g)を用時懸 濁し,1日3回経口投与する。 なお,年齢,症状により適宜増減する。</p>	<p>〈成人〉 ○下記疾患の去痰 上気道炎(咽頭炎,喉 頭炎),急性気管支炎, 気管支喘息,慢性気 管支炎,気管支拡張 症,肺結核 ○慢性副鼻腔炎の 排膿</p> <p>〈小児〉 ○下記疾患の去痰 上気道炎(咽頭炎,喉 頭炎),急性気管支炎, 気管支喘息,慢性気 管支炎,気管支拡張 症,肺結核 ○慢性副鼻腔炎の 排膿 ○滲出性中耳炎の 排液</p>
小児科	アムプロキシール塩酸塩 DS小児用1.5%「タカタ」 (薬価: 20.80/g)	1g: アムプロキシ ール塩酸塩15mg	高田 製薬	通常,幼・小児に1日0.06g/kg(アムプロキ ソール塩酸塩として0.9mg/kg)を3回に分 け,用時溶解して経口投与する。 なお,年齢・症状により適宜増減する。	<p>下記疾患の去痰 ○急性気管支炎 ○気管支喘息</p>

・診療科限定新規採用薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
小児科	モイゼルト軟膏1%10g (薬価: 150.40/g)	1g: ジファミラスト 10mg	大塚 製薬	<p>〈成人〉 通常,成人には1%製剤を1日2回,適量を患 部に塗布する。</p> <p>〈小児〉 通常,小児には0.3%製剤を1日2回,適量を 患部に塗布する。症状に応じて,1%製剤を 1日2回,適量を患部に塗布することができる。</p>	アトピー性皮膚炎
小児科	アプリスボ筋注用 (薬価: 未収載)	0.5mL(抗原製剤を 専用溶解用液で 溶解後): RSV-A融合前Fタンパク質 0.06mg,RSV-B融 合前Fタンパク質 0.06mg	ファイ ザー	<p>〈妊婦への能動免疫による新生児及び乳 児におけるRSウイルスを原因とする下 気道疾患の予防〉 抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解後, 妊娠24~36週の妊婦に,1回0.5mLを筋肉 内に接種する。</p> <p>〈60歳以上の者におけるRSウイルスによ る感染症の予防〉 抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解後,1 回0.5mLを筋肉内に接種する。</p>	<p>○妊婦への能動免 疫による新生児及び 乳児におけるRSウイ ルスを原因とする下 気道疾患の予防 ○60歳以上の者にお けるRSウイルスによ る感染症の予防</p>

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
小児科	コナチRTU筋注1人用 (薬価:未収載)	0.3mL:ラクストジ ナメラン 0.030mg(RNA総量 として)	ファイ ザー	1回0.3mLを筋肉内に接種する。	SARS-CoV-2による 感染症の予防
新生児 集中 治療部 小児科	ベイフォータス筋注 50mg/100mgシリンジ (薬価: 50mg=459,147/筒, 100mg=906,302/筒)	50mg1シリンジ (0.5mL):ニルセビ マブ(遺伝子組換 え)50mg 100mg1シリンジ (1.0mL):ニルセビ マブ(遺伝子組換 え)100mg	アストラ ゼネカ= サノフィ	生後初回のRSウイルス感染流行期には、 通常、体重5kg未満の新生児及び乳児は 50mg、体重5kg以上の新生児及び乳児は 100mgを1回、筋肉内注射する。 生後2回目のRSウイルス感染流行期には、 通常、200mgを1回、筋肉内注射する。	○生後初回又は2回 目のRSウイルス (Respiratory Syncytial Virus)感染 流行期の重篤なRS ウイルス感染症のリ スクを有する新生児、 乳児及び幼児におけ る、RSウイルス感染 による下気道疾患の 発症抑制 ○生後初回のRSウ イルス感染流行期の 1.以外のすべての新 生児及び乳児におけ るRSウイルス感染に よる下気道疾患の予 防
消化器・ 胆管隣 外科	ピロイ点滴静注用100mg (薬価:54,502/瓶)	1パイアル:ゾルベツ キシマブ(遺伝子 組換え)105mg	アス テラス	他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通 常、成人にはゾルベツキシマブ(遺伝子組 換え)として、初回は800mg/m ² (体表面積) を、2回目以降は600mg/m ² (体表面積)を3 週間間隔又は400mg/m ² (体表面積)を2週 間間隔で2時間以上かけて点滴静注する。	CLDN18.2陽性の治 癒切除不能な進行・ 再発の胃癌
呼吸器 内科	ポートラーザ点滴静注液 800mg (薬価:228,328/瓶)	1パイアル(50mL):ネ シツムマブ(遺伝子 組換え)800mg	日本 化薬	ゲムシタピン及びシスプラチンとの併用 において、通常、成人にはネシツムマブ(遺 伝子組換え)として1回800mgをおよそ60分 かけて点滴静注し、週1回投与を2週連続し、3 週目は休薬する。これを1コースとして投与 を繰り返す。なお、患者の状態により適宜 減量する。	切除不能な進行・再 発の扁平上皮非小 細胞肺癌
精神科	ロナセンテープ 20mg/40mg (薬価: 20mg=239.40/枚, 40mg=446.20/枚)	20mg1枚:プロナン セリン20mg 40mg1枚:プロナン セリン40mg	住友 ファーマ	通常、成人にはプロナンセリンとして40mgを 1日1回貼付するが、患者の状態に応じて最 大80mgを1日1回貼付することもできる。 なお、患者の状態により適宜増減するが、1 日量は80mgを超えないこと。 本剤は、胸部、腹部、背部のいずれかに貼付 し、24時間ごとに貼り替える。	統合失調症
血液・ 腫瘍 内科	アーウィナーゼ筋注用 (薬価:172,931/瓶)	1パイアル:クリサン タスパーゼ 10,000U	大原 薬品	他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通 常、1日1回体表面積1m ² あたり25,000Uを 週3回、筋肉内投与する。	急性白血病(慢性白 血病の急性転化例を 含む)、悪性リンパ腫、 ただし、L-アスパラギ ナーゼ製剤に過敏症 を示した場合に限る

2) 診療科限定追加薬品:下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
脳神経外科	フィコンパ点滴静注用 2mg (薬価:1,962/瓶)	1バイアル:ペランパネル水和物 2.16mg(ペランパネルとして2.08mg)	エーザイ	【ペランパネルの経口投与から本剤に切り替える場合】 〈部分発作(二次性全般化発作を含む)に用いる場合〉 [単剤療法][併用療法]通常,成人及び4歳以上の小児にはペランパネル経口投与と同じ1日用量を,1日1回30分以上かけて点滴静脈内投与する。ただし,4歳以上12歳未満の小児への投与時間は90分とする。 〈強直間代発作に用いる場合〉 [併用療法]通常,成人及び12歳以上の小児にはペランパネル経口投与と同じ1日用量を,1日1回30分以上かけて点滴静脈内投与する。 【ペランパネルの経口投与に先立ち本剤を投与する場合】等については,添付文書参照	一時的に経口投与ができない患者における,下記の治療に対するペランパネル経口製剤の代替療法 ○てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む) ○他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法
消化器・胆管膵外科	アロカリス点滴静注 235mg (薬価:11,276/瓶)	1バイアル(10mL):ホスネツピタント塩化物塩酸塩 260mg(ホスネツピタントとして235mg)	大鵬薬品	他の制吐剤との併用において,通常,成人にはホスネツピタントとして235mgを抗悪性腫瘍剤投与1日目に1回,点滴静注する。	抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心,嘔吐)(遅発期を含む)
泌尿器科	ジクトルテープ75mg (薬価:154.50/枚)	1枚:日局ジクロフェナクナトリウム 75mg	久光	【各種がんにおける鎮痛】 通常,成人に対し,1日1回,2枚(ジクロフェナクナトリウムとして150mg)を胸部,腹部,上腕部,背部,腰部又は大腿部に貼付し,1日(約24時間)毎に貼り替える。なお,症状や状態により1日3枚(ジクロフェナクナトリウムとして225mg)に増量できる。 【腰痛症,肩関節周囲炎,頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎】 通常,成人に対し,1日1回,1枚(ジクロフェナクナトリウムとして75mg)又は2枚(ジクロフェナクナトリウムとして150mg)を胸部,腹部,上腕部,背部,腰部又は大腿部に貼付し,1日(約24時間)毎に貼り替える。	○各種がんにおける鎮痛 ○腰痛症,肩関節周囲炎,頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎

3) 患者限定新規採用薬品:下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
消化器内科	エンタイピオ皮下注 108mgペン (薬価:69,888/キット)	1キット(0.68mL): ベドリズムブ 108mg(遺伝子組換え)	武田薬品	通常,成人にはベドリズムブ(遺伝子組換え)として1回108mgを2週間隔で皮下注射する。	○中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る) ○中等症から重症の活動期クローン病の維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
精神科	ロイコン錠10mg (薬価:5.70/錠)	1錠:アデニン 10mg含有	大原 薬品	アデニンとして、通常成人1日20～60mgを 経口投与する。なお、年齢、症状により適宜 増減する。	放射線曝射ないし薬 物による白血球減少 症
循環器 内科	キニジン硫酸塩錠100mg 「VTRS」 (薬価:17.70/錠)	1錠:日局 キニジ ン硫酸塩水和物 100.00mg	ヴィア トリス 製薬	<p>経口的に投与するが、著明な副作用を有す るゆえ、原則として入院させて用いる。 本剤の投与法は心房細動の除去を目的と する場合を標準とし、漸増法と大量投与法 に大別できる。その他の不整脈に対して は、原則として少量持続投与でよく、この場 合には外来にて投与してもよい。</p> <p>【試験投与】治療に先立ち、1回量0.1～0.2g を経口投与し、副作用があらわれた時は、投 与を中止する。副作用を調べる際には血 圧測定と心電図記録を行う必要がある。</p> <p>【漸増法】成人における慢性心房細動に対 しては、例えばキニジン硫酸塩水和物とし て、1回量0.2gを最初1日3回(6～8時間お き)に投与し、効果がない場合は、2日目ごと に1回量を0.4g、0.6gのごとく増すか、投与回 数を1～2日目ごとに4,5,6回のごとく増す。 不整脈除去効果が得られたら、そこで維持 量投与に切りかえ、あるいは投与を中止す る。6日間投与して効果がない場合、途中で 副作用があらわれた場合には、投与を中止 すること。本剤は昼間のみ与えるのが原 則である。</p> <p>【大量投与】はじめから大量を与え、投与期 間の短縮をはかるもので、成人における慢 性心房細動に対しては、たとえばキニジン 硫酸塩水和物として、1回量0.4gを1日5回、3 日間与え、効果がない場合には投与を中止 する。効果が得られた場合の維持投与は 漸増法と同様である。わが国では漸増法 でよいとする報告が多い。</p> <p>【維持量投与】キニジン硫酸塩水和物とし て、通常、成人1日量0.2～0.6gを1～3回に分 割経口投与するが、個人差が大きい。 電気ショック療法との併用及びその後の洞 調律の維持に対する用量もこれに準ず る。 なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>	期外収縮(上室性、心 室性)、発作性頻拍(上 室性、心室性)、新鮮心 房細動、発作性心房 細動の予防、陳旧性 心房細動、心房粗動、 電気ショック療法との 併用及びその後の洞 調律の維持、急性心 筋梗塞時における心 室性不整脈の予防
循環器 内科	リベルサス錠7mg (薬価:325.70/錠)	1錠:セマグルチド(遺 伝子組換 え)7mg	ノボル ディスク ファーマ	通常、成人には、セマグルチド(遺伝子組換 え)として1日1回7mgを維持用量とし経口投 与する。ただし、1日1回3mgから開始し、4週 間以上投与した後、1日1回7mgに増量す る。なお、患者の状態に応じて適宜増減す るが、1日1回7mgを4週間以上投与しても効 果不十分な場合には、1日1回14mgに増量 することができる。	2型糖尿病
小児科	ロコイドクリーム0.1%5g (薬価:14.90/g)	1g:日局 ヒドロコ ルチゾン酪酸エス テル1mg(0.1%)	鳥居 薬品	通常1日1～数回適量を塗布する。 なお、症状により適宜増減する。	湿疹・皮膚炎群8(進 行性指掌角皮症、ピ ダール苔癬、脂漏性 皮膚炎を含む)、痒疹 群(蕁麻疹様苔癬、ス トロフルス、固定蕁 麻疹を含む)、乾癬、掌 蹠膿疱症

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
小児科	リンデロン-Vクリーム 0.12%5g (薬価:18.60/g)	1g:ベタメタゾン吉草酸エステル 1.2mg	シオノギ ファーマ	通常,1日1~数回,適量を患部に塗布する。 なお,症状により適宜増減する。	湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症,女子顔面黒皮症,ピダール苔癬,放射線皮膚炎,日光皮膚炎を含む),皮膚そう痒症,痒疹群(蕁麻疹様苔癬,ストロフルス,固定蕁麻疹を含む),虫さされ,乾癬,掌蹠膿疱症,扁平苔癬,光沢苔癬,毛孔性紅色靴糠疹,ジベルバラ色靴糠疹,紅斑症(多形滲出性紅斑,結節性紅斑,ダリエ遠心性環状紅斑),紅皮症(悪性リンパ腫による紅皮症を含む),慢性円板状エリテマトーデス,薬疹・中毒疹,円形脱毛症(悪性を含む),熱傷(癒痕,ケロイドを含む),凍瘡,天疱瘡群,ジューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡を含む),痔核,鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創
小児科	ベタメタゾン吉草酸エステルローション0.12%「イワキ」10mL (薬価:8.50/1mL)	1mL:日局 ベタメタゾン吉草酸エステル1.2mg(0.12%)	岩城製薬	通常1日1~数回,適量を患部に塗布する。 なお,症状により適宜増減する。	湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症,女子顔面黒皮症,ピダール苔癬,放射線皮膚炎,日光皮膚炎を含む),乾癬,皮膚そう痒症,鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創,進行性壊疽性鼻炎
血液・腫瘍内科	カルケンスカプセル 100mg (薬価:12,921.90/錠)	1カプセル: アカラブルチニブ 100mg	アストラ ゼネカ	通常,成人にはアカラブルチニブとして1回100mgを1日2回経口投与する。なお,患者の状態により適宜減量する。	慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)
呼吸器内科	ストレプトマイシン硫酸塩注射用1g「明治」 (薬価:396/瓶)	1バイアル:日局ストレプトマイシン硫酸塩1g(力価)	Meiji Seika ファルマ	【肺結核及びその他の結核症に対して使用する場合】 通常,成人にはストレプトマイシンとして1日1g(力価)を筋肉内注射する。週2~3日,あるいははじめの1~3カ月は毎日,その後週2日投与する。また必要に応じて局所に投与する。 ただし,高齢者(60歳以上)には1回0.5~0.75g(力価)とし,小児あるいは体重の著しく少ないものにあつては適宜減量する。なお,原則として他の抗結核薬と併用する。 【その他の場合】 通常,成人にはストレプトマイシンとして1日1~2g(力価)を1~2回に分けて筋肉内注射する。 なお,年齢,症状により適宜増減する。 【マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症に対して使用する場合】 通常,成人にはストレプトマイシンとして1日0.75~1g(力価)を週2回または週3回筋肉内注射する。年齢,体重,症状により適宜減量する。	〈適応菌種〉 ストレプトマイシンに感性的マイコバクテリウム属,ペスト菌,野兔病菌,ウイルス病レプトスピラ 〈適応症〉 感染性心内膜炎(ベンジルペニシリン又はアンピシリンと併用の場合に限る),ペスト,野兔病,肺結核及びその他の結核症,マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症,ウイルス病

4) 診療科限定再審議薬品(本採用結果)

- ・フェスゴ配合皮下注MA/IN:診療科限定のままで(乳腺外科)*レジメン管理の為
- ・エプキンリ皮下注4mg/48mg:診療科限定のままで(血液・腫瘍内科)*レジメン管理の為
- ・ステルイズ水性懸濁筋注240万単位シリンジ:診療科限定のままで(感染症内科)
- ・アミヴィッド静注:診療科限定のままで(放射線診断科)
- ・ビザミル静注:診療科限定のままで(放射線診断科)

5) 販売/供給中止・回収・出荷調整等に伴う変更(在庫なくなり次第変更予定)

(変更前薬品名)	(変更後薬品名)
・リン酸コデイン散1%「ホエイ」	→ コデインリン酸塩散1%「ホエイ」
・リン酸コデイン錠5mg「VTRS」	→ コデインリン酸塩錠5mg「VTRS」
・マドパー配合錠	→ マドパー配合錠L100
・セファレキシン錠250「日医工」	→ セファレキシン錠250mg「日医工」
・クエチアピン錠25mg「ヨシトミ」	→ クエチアピン錠25mg「ニプロ」
・ヒカリレバン注500mL	→ アミノレバン点滴静注500mL
・ビソルボン注4mg	→ ブロムヘキシリン塩酸塩注射液4mg「タイヨー」
・カルボカインアンプル注2% 10mL	→ カルボカインアンプル注2% 2mL・5mL ※納入できる方に一時変更予定(今後は未定)
・デキサメタゾン口腔用軟膏0.1%「NK」2g	→ デキサメタゾン口腔用軟膏0.1%「NK」5g
・リスペリドンOD錠1mg「ヨシトミ」	→ リスペリドンOD錠1mg「サワイ」
・グリセリン「マルイシ」	→ グリセリン「ニッコー」
・パロキセチン錠10mg「SPKK」	→ パロキセチン錠10mg「明治」

6) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

・カルボシステインシロップ小児用5%「NIG」	:カルボシステインDS50%「タカタ」採用の為削除
・セネガシロップ シオエ	:アンブロキシソール塩酸塩DS小児用1.5%「タカタ」 採用の為削除
・【患者限定】モイゼルト軟膏0.3%	:【科限定】モイゼルト軟膏1%採用の為削除

7) 採用区分/剤型変更等(在庫なくなり次第変更予定)

① 剤形変更/剤型追加/規格変更/規格追加

(1) 剤型追加

・【患者限定】トルバプタン顆粒1%「サワイ」 : トルバプタンOD錠7.5mg「TE」に追加

(2) 規格追加

・トレーランG液50g : トレーランG液75gに追加

② 採用区分変更

(1) 全科採用→【患者限定】へ変更

・レボトミン顆粒10% *採用基準では採用削除だが患者限定希望(精神科確認済)

(2) 【患者限定】→全科採用へ変更

・【患者限定】カルボシステインDS50%「タカタ」

8) 後発品への変更(在庫なくなり次第変更予定)

① 先発→後発

・【患者限定】トレリーフOD錠25mg →【患者限定】ゾニサミドOD錠25mgTRE「SMPP」